

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑮放課後児童支援員の仕事内容

- ◆ 放課後児童クラブは子どもが安心して過ごせる生活の場であると共に、こどもの発達段階に応じて、基本的な生活習慣の確立や子どもの健全な育成を支援する場でもあります。支援員がまずは、心身共に健全である事が仕事をする上で大切です。そして支援員としてふさわしい行動、言動、適切なコミュニケーション術を身につけ、技能を高め、更なる向上心を持続させ、日々の職務にあたるよう努めたいと思います。
- ◆ 放課後児童クラブでは年齢や発達の状況が異なる子どもたちが一緒に生活しているという事を考慮して、一人ひとりの想いに寄りそうということが大切だと改めて思った。基本的な生活習慣が身に付くように発達に応じて根気強く伝えていき、けんかやいじめに関しては、それぞれの関係性や気持ちを普段から見て把握しておく。そして見極めることが大事だと学んだ。主体的に取り組む姿を見守ることも大事だが、常に子どもの気持ちに心を寄せていきたいと思った。
- ◆ 放課後児童支援員の仕事内容を理解することができた。子どもが放課後児童クラブに通うことの必要性理解できるように援助したり、主体的に生活出来るように援助したりすることが大切だと学んだ。子どもたちとコミュニケーションを取ることを心がけていきたい。また、事業内容向上のために、こどもや保護者の意見を取り入れ、改善していきたいと思った。
- ◆ 子どもにとって、安心して過ごせる生活の場であり、児童支援員等が信頼できる存在でありたいと思います。こども一人ひとりの放課後児童クラブでの生活状況を把握しながら子ども同士の関係にも配慮し、意見を尊重するように心がけていきたいと思います。そして、適切な分担と協力のもとで育成支援が行われること、情報交換や情報共有が大切で、意見交換できる職員集団でありたいと思います。子どもの安心・安全を守り努めていきたいと思います。
- ◆ 常に学んで、支援員としての「質」を上げていく必要があることがよく分かった。保護者アンケートによる「評価」は自分や同僚が気がつかない事を教えてくれる良い機会だと思ったり、素直に前向きに取り組んでいける材料にもなる。今後の仕事に関する情報管理については、学校や地域とのスムーズな連携を考えると、紙媒体からデジタルに移行できるように、専門家の意見も聞きながら進めていく必要があると思った。